

## 平成23年7月臨時教育委員会会議録

日 時	平成23年7月25日（月） 午後1時00分～4時00分
場 所	秦野市役所西庁舎3階会議室
出席委員	委員長 望月 國男      委員長職務代理者 加藤 剛 委員 高橋 照江      委員 内田 晴久      教育長 内田 賢司
欠席委員	なし
委員以外 の出席者	教育部長 水野 和成      教育指導課指導主事 石川 一郎 教育総務課長 山口 均      横山 潔 教育指導課長兼      教育総務課課長補佐(庶務担当) 入野 義郎 教育研究所長 高木 俊樹      教育総務課庶務班主事補 川崎 倫明
傍聴者	23名
会議次第	別紙のとおり
会議資料	別紙のとおり

望月委員長

それでは、ただいまより臨時教育委員会会議を開催いたします。

本会議は、平成24年度の小中学校で使用する教科用図書を採択するため、臨時教育委員会会議として開催し、審議を行います。

それでは、お手元の会議次第に沿って進めさせていただきます。議案といたしまして、議案第22号「平成24年度に使用する中学校の教科用図書の採択について」、議案第23号「平成24年度に使用する小学校の教科用図書の採択について」及び議案第24号「平成24年度に使用する学校教育法附則第9条による教科用図書の採択について」の3件です。

最初に、議案第22号「平成24年度に使用する中学校の教科用図書の採択について」の審議を始めます。

それでは、提案理由の説明をお願いいたします。

教育指導課長

それでは、議案第22号「平成24年度に使用する中学校の教科用図書の採択について」のご説明をいたします。

本議案は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第1項により、平成24年度秦野市立中学校で使用する教科用図書を採択していただきたく、提案するものでございます。

これまで、教育委員会会議で議決していただきました採択基本方針に従って、秦野市教科用図書採択検討委員会を設置し、必要な事項の調査検討を行いました。この検討委員会は、第1回を5月6日に開催し、採択に向けた調査研究の進め方や日程などについて協議をいたしました。第2回は7月8日に開催しまして、各種目調査員からの教科用図書の調査研究結果の報告を受け、平成24年度に中学校で使用する15種目についての検討を行いました。この報告については、7月15日付で、糟谷松夫秦野市教科用図書採択検討委員長より、報告書として教育委員会に提出されております。本日の議案にも添付されております。

本日の会議では、まず採択検討委員会の検討結果報告をご報告申し上げます。その後、協議の上、種目ごとに1者の教科用図書を採択していただきたいと思っております。

ありがとうございました。

望月委員長

それでは、議案第22号「平成24年度に使用する中学校の教科用図書の採択について」の説明がございました。中学の教科用図書の採択について、教育委員長の私あて、あるいは教育委員会あてに、請願、要望、意見書等、現在までに61件出ております。机上にはそれらを一覧にした資料をお配りしており、原本はこちらにございますので、後ほどご覧ください。また、教科用図書展示会の会場における感想要旨についても、こちらにありますので、同様の扱いといたします。

さて、採択に当たっては、中学校で使用する教科用図書について、種目ごとに事務局より説明をいただきます。それを受け、教育委員で協議し、その後、無記名投票により一番得票が多かった1者を決定するといった手順で進めていきたいと思っております。

なお、最も多い得票数が2者になることも予想されるわけですが、その際には、その2者による再投票をしたいと思います。また、得票が2票、1票、1票、あるいは、すべて1票というふうに票が分かれ、最も多い得票でも過半数を超える3票を得られなかった場合には、再度協議を行った上で再投票をしたいと思います。ですが、いかがでしょうか。

望月委員長

—異議なし—

異議なしということですので、採択は無記名投票とし、過半数を超える3票以上得票した教科用図書を採択することといたします。

投票ということになりますので、立会人をここで指名したいと思っております。加藤委員長職務代理者をお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

望月委員長

—異議なし—

よろしくお願ひします。

それでは、議案の採決についてですが、お手元に配付されている議案の別紙は、種目名は記入してあるものの、その発行者名は空欄になっております。各種目の発行者が決まり次第、各自で欄に記入していただきたいと思っております。すべての種目の記入が完了した時点で議案第22号が完成し、一括して採決を行うという方式をとりたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

望月委員長

—異議なし—

それでは、議事に入ります。

本日の参考資料として、事前にいただいた、秦野市を含めた3市2町の調査員が調査研究した報告書及び県の教育委員会による調査研究報告書、あるいは教育基本法、学校教育法等関連法規や文部科学省から出された通知等がお手元にあると思っておりますが、有効にご活用ください。

それでは、最初に国語から審議いたします。事務局、説明をお願いいたします。

教育指導課長

お手元の資料の一覧表にございます教科用図書は、ご承知のように、すべて文部科学省による検定済みの図書です。各者それぞれ学習指導要領の目標に沿いながら、学ぶ意欲を喚起する学習構成や基礎・基本の定着のための工夫、あるいは魅力ある発展的な学習の扱い等、工夫した編集が見られております。

過日開催された第2回秦野市教科用図書採択検討委員会において、各教科・種目別に出しております教科用図書について、すべての教科・種目に共通する観点として、これは5項目あるのですが、教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連、あるいは、かながわ教育ビジョンとの関連、内容、構成や分量、装丁、表記、表現について、各教科や種目別の観点による内容について協議を行っております。その結果については、お手元の報告書にあるとおりです。その概要について、教科・種目別に、これから国語より順次、簡潔にご報告させていただきたいと思っております。

国語についてです。発行者は、東京書籍、学校図書、三省堂、教育出版、光村図書の5者でございます。共通する観点とともに、教科・種目別に調査した観点としましては、国語は、話すこと、聞くこと、書くこと、読むことについての教材の内容及び言語活動例は適切に取り上げられているか。伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の教材例は適切に取り上げられているか。読書に親しむ態度を養うための配慮及び目的に応じた読書のための教材の提示が適切であるかについて検討いたしました。

検討委員会においては、「東京書籍は、教材の配置のバランスがよく、言葉の力を高めるための配慮が各領域にある」という意見、「光村図書は、読み物教材の内容が充実している」という意見、「教育出版は、学習記録シートが巻末に書き込み式になっている点や新出漢字が大判で折り込みになっている点に工夫が見られる」といった意見が出されております。他者については、報告書に記載してあるとおりでございます。

お願いいたします。

望月委員長

ただいま説明が終わりましたが、検討委員会に参加されました委員は、何か補足するようなことがありましたら、お願いいたします。

高橋委員

委員会では、各教科書の色遣いについても話題になりました。東京書籍は比較的落ちついた色遣いであって、三省堂や光村図書はカラフルであるという指摘がありました。ご覧になるとわかるとおり、教科書のサイズもA5判とA4判のものがあります。どちらが使いやすいかという話にもなりましたが、光村図書は、学年ごとに基調となっている色を変え、裏表紙の内側にさまざまな言葉として詳しい説明がされている。それは日本文化の細やかさとか奥深さを示したもので、大変興味深いと思っております。

また、教科書のサイズについてですが、3年用の教科書に井上ひさしさんの小説「握手」が、小さいサイズの学校図書と大きいサイズの光村図書、双方に記載されております。これをもう一度読み直してみましたが、読むという観点では、私は小さいサイズが集中できてよかったと思いましたが、学習のまとめでは大きいサイズが見やすいという印象を持ち、色とかサイズで判断することは難しいという感想を持ちました。

望月委員長  
加藤委員

ほかにどうでしょうか。

まず、話に上がっていたサイズの件ですが、私も新書サイズといますか、物を読むということでは慣れているサイズである小さいほうがいいと思いました。しかし、サイズも採択する中の1

内田委員

つのファクターにすぎないので、写真や図の挿入のバランス、学習のまとめのバランスなども総合的に鑑みて判断をしようと思っております。

一通り拝見させていただきましたが、特に見やすさ、文字の大きさ、カラフル過ぎていてもなかなか難しいということもございましたが、先ほどの調査委員会の報告にもありましたように、例えばコペルニクスに関するような記事などはぜひ子どもたちに読ませるといいものではないかと感じました。また、光村図書ですが、裏表紙に微妙な色の違いを言葉で表しているところも教材としてはおもしろいと思いました。

教育長

冒頭、話があったサイズの話ですが、A5判といいますと、ちょうどA4判の半分のサイズですから、例えば小説を読む際には扱いやすいと思いましたが、一定のサイズが子どもたちには受け入れやすいという印象もあります。

また、先ほどから話がありますように、色遣いは昔の教科書と違って非常にカラフルです。その中でも、基本の部分として、配置なども含めてフォローしなくてはならないと思いました。

望月委員長

私も、読ませていただいた中で、どの教科書もバランスよく配置されていると感じました。また、今重要な言葉の力をどのように高めるかも十分配慮されていると思ったのですが、読書活動をどのように高めるかという視点で見たときに、「読書への招待」という単元が各学年に1つあり、読書教育に関することが掲載されています。また、戦争や平和、日本文化などテーマを設けて紹介され、これは東京書籍の特徴になっていると感想を持ったわけです。

ほかに何かありませんか。

—特になし—

望月委員長

ないようでしたら、投票を行いたいと思いますが、いかがでしょうか。

—異議なし—

望月委員長

それでは、投票を行います。事務局、投票用紙を配付してください。

—投票—

教育指導課長

開票の結果を報告いたします。

国語につきましては、東京書籍3票、三省堂1票、光村図書1票、以上です。

望月委員長

それでは、現在の開票の結果おわかりのように、国語については東京書籍に決定いたしました。お手元の用紙にご記入くださ

教育指導課長	<p>い。</p> <p>続きまして、書写について審議を行います。説明をお願いします。</p> <p>書写についてですが、発行者は、東京書籍、大日本図書、学校図書、三省堂、教育出版、光村図書の4者でございます。</p> <p>書写の調査観点は、毛筆と硬筆の教材例及び用筆、配列など、基礎的な事項に関する教材例について適切に取り扱われているか。楷書・行書・漢字・仮名の分量とその配分は適切であるか。文字文化や社会生活との関連を図った教材例は適切に配列されているかについて検討いたしました。</p> <p>検討委員会においては、「墨の濃淡や朱墨の濃淡を使って穂先の扱いなどがわかりやすく示しているのが東京書籍と教育出版、この2つが手本として使いやすい」という意見、「具体的に、のし紙や宅配伝票への記載を取り上げ、生活に直接かかわる教材がよい」という東京書籍と大日本図書、「楷書の書き方を確かめるページを設け、きれいな字を書くことに留意している三省堂の編集がよい」などが意見として出されております。</p>
望月委員長 高橋委員	<p>検討委員会のご意見はいかがでしょうか。</p> <p>東京書籍の擬音語を使った筆遣いがとてもわかりやすくてよいという意見が出ておりました。</p>
望月委員長 高橋委員	<p>それは例えば具体的にどのようなことでしょうか。</p> <p>筆遣いを「トン」「スー」「ピタッ」という擬音語を使って書いてありますので、印象に残ってなかなか効果的なのではないかというような意見が出ました。</p>
望月委員長 教育長	<p>ほかにありませんか。</p> <p>今、筆遣いの擬音語の話がありましたが、私も表現が非常にわかりやすく、感覚的にも頭の中に入ってくる、あるいは手の感覚としてそれがわかるという手法であると思ったところです。</p> <p>あと、報告にもありましたが、生活に直接かかわる教材というものがでていまして、いずれ子どもたちも大きくなれば必要だなと思ったところです。</p>
望月教育長 内田委員	<p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p>日常生活で使うような場面が教材になっているものが複数あり、非常にいいと思います。</p> <p>あと、毛筆の特徴で、楷書と行書の区別を拡大して、よく注意できる教材もあり、その辺もいいかなと思いました。また、先ほどおっしゃられた擬音なども、理解する上ではとてもいいと思いました。</p>

加藤委員

私も同じような感想を持っているのですが、実生活に役立つのし袋、宅配便の票など、押しなべて多くの出版社が取り上げているのですが、その中に直接書き込んだりする方式のものが、おもしろいと思いました。

そして、毛筆、硬筆の分量に関して、偏って割かれているページ数が多いと感じたところが何社かありましたので、その辺のバランスも観点に入れて採択したいと思っています。

望月委員長

3年間の学習内容が1冊にまとめられていて、教材ごとに振り返り欄などが設け、なかなか創意工夫している教科書もありました。実用面から考えると大変なことですが、のし紙へ直接書き込み、ノートのとりの方の比較がなされている。実用面から見ると、そのような工夫していた教科書もあったと思います。

毛筆については、黒の濃淡がはっきりしていて穂先の動きが見えるようになっている教科書も目についたわけでありませう。

私の感想は以上でございます。

では、投票に入ってよろしいですか。

—異議なし—

望月委員長

では、事務局、お願いします。

—投票—

望月委員長

では、事務局、開票結果を報告してください。

教育指導課長

開票結果を報告いたします。

書写につきましては、東京書籍5票、以上です。

望月委員長

開票の結果、書写については東京書籍に決定いたしました。

それでは、社会（地理的分野）の審議を行いたいと思います。

説明をお願いします。

教育指導課長

社会（地理的分野）の発行者は、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版の4者であります。

調査観点としましては、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察するために、社会的事象に関する基礎的な知識や技能等を習得させるよう配慮されているか。思考力・判断力・表現力等の能力育成について配慮されているか。統計その他の資料は、最新のものです。信頼性があり、生徒の発達の段階に即しているか。以上のことについて検討しております。

報告書にありますように、学習のまとめの話題が結構出ております。学習のまとめの部分に着目すると、「帝国書院のまとめ方がよい」という意見、なお、帝国書院については、「写真や資料の示し方もよい」というご意見もありました。編集としては、日本の地方の様子について、日本文教出版は北海道から扱うのに対

望月委員長  
高橋委員

して、ほかの3者は九州から扱う構成になっているという違いについて指摘されるという場面も出ております。

それでは、検討委員のご説明をお願いします。

中学生になると地理学習でも基礎・基本的な事柄が小学校のときと比べて飛躍的に多くなると思うのです。そのために、知識の定着ということ考えると、学習のまとめが大変重要になってくると思います。そこで、帝国書院のまとめが充実していて、グラフと表が効果的に使用されており、大変わかりやすかったというような印象を持ちました。

望月委員長  
教育長

私も、学習のまとめというところを非常に評価して、よくわかったわけですが、高橋委員以外のご意見はどうでしょうか。

話に出た学習のまとめですが、単元をまとめて振り返って改めて確認することができる。それから、通期分の定着を図ることからすると、それまで勉強してきたことのうちで抜けているような部分の再確認ができるということがありますから、非常に大事なことだと思いました。それと、名前があった出版社では、地図との連携していることに感心をした次第です。

望月委員長  
加藤委員

ほかにいかがでしょうか。

やはり、私も同じような意見になってしまいましたが、振り返りも含めて、学習のまとめが非常に見やすいし、理解しやすいという意見を持っています。そして、全体的に、図、表、色遣い、写真等、非常に見やすい、読み進めやすい印象を持ちました。

望月委員長  
内田委員

ほかにどうでしょうか。

私も同様に、全体を扱っていることは当然ですが、加えてどのような項目を扱っているかというところで、地理のみならず、経済や社会全体につながる展開がなされている教科書、それから、最近の環境問題に絡んで、フェアトレード、危機管理、ハザードマップに関して、災害に関して見開きで扱っていた帝国書院などがいい教材ではないかと思いました。

望月委員長

ほかにありませんか。

私は、先ほど、学習のまとめについて感想を述べさせていただいたのですが、何社かは巻末に用語集があって、理解に必要な用語に関して解説されていました。これは非常に生徒たちの理解の助けになるのではないかということを感じました。

教育長

ほかに何かありますか。

報告の中で教科書を見ていたのですが、教科書によって、日本の学習という部分で、北海道から始めるものと九州から始めるもの、こういう違いがありましたので、こういう構成は何か意図が



望月委員長

あってやっていると、そんな印象を持ったものですから、選択の中でどうあるべきかと感じがしたところです。

そうですね。北海道からと九州から扱うのとで、それぞれ意図があったのではないかと思います。

ほかにどうでしょうか。

—特になし—

望月委員長

それでは、投票を行いたいと思います。事務局、よろしくどうぞお願いします。

—投票—

教育指導課長

開票の結果をご報告いたします。

社会（地理的分野）については、帝国書院5票、以上です。

望月委員長

開票の結果、社会（地理的分野）につきましては帝国書院に決定しました。

それでは、次に歴史的分野に移りたいと思いますが、事務局、よろしくどうぞお願いします。

教育指導課長

社会（歴史的分野）です。歴史的分野の発行者は、東京書籍、教育出版、清水書院、帝国書院、日本文教出版、自由社、育鵬社の7者です。

調査の観点、教科・種目別の観点としましては、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察するために、社会的事象に関する基礎的な知識や技能等を習得させるよう配慮されているか。思考力・判断力・表現力等の能力育成について配慮されているか。統計その他の資料は、最新のもので、信頼性があり、生徒の発達の段階に即しているかの3点でございます。これについて検討いたしました。

検討委員会では、各者それぞれの編集の特徴について意見が出ております。東京書籍については「資料が豊富で、写真や絵、図などで歴史の事柄、事象をイメージしやすい」という意見、教育出版については「現代史の冷戦時代以降の国際関係や高度経済成長の様子などが詳しく書かれている」という指摘、清水書院については「年代別の編集構成のバランスがよい。また、説明の記述内容がわかりやすい」という意見、帝国書院については「地図帳の機能が有効に編集されている」という意見、日本文教出版については「言語活動を重視した編集になっている」という意見、自由社については「各時代の特徴的な人物やトピックの紹介に工夫が見られる」という点の報告、育鵬社については「取り上げている人物が多く、時代の特徴をとらえ、学習を深めていく意味で有効である」という意見等が出ました。詳細については報告書をご

覧ください。

なお、社会（歴史的分野）及び後の社会（公民的分野）については、ご承知のとおり、請願、陳情、要望等が数多く出されている分野でございます。申し添えておきたいと思います。

望月委員長  
高橋委員

検討委員会のほうからはいかがでしょうか。

各教科書には年表がついていますが、結構授業でも扱うページだとお聞きしました。その中で、3月11日の東日本大震災の記述がある教科書とない教科書があるという話題になりました。

清水書院は、年表が教科書の中央にあり、年表を開きながら学べる工夫が見られて、いいなという感想を持ちました。また、全般的に見て、記述が丁寧でわかりやすく、生徒の自ら学ぶ姿勢を助けて、歴史の学習に興味を引くのではないかという気がしております。

望月委員長  
加藤委員

ほかの委員、どうでしょうか。

私は、先ほどの地理と同様、帝国書院は、学習のまとめに関して、わかりやすい気がしております。清水書院は、「深める歴史」というところが非常に興味を引くといいますか、生徒の関心を引くのに非常に有用なのではないかと思っております。

望月委員長  
教育長

ほかはどうでしょうか。

すべてのところではないのですが、單元ごとに「学習のまとめと表現」という形で、回答を穴埋めする方式をとっているものがありました。先ほども私が申し上げている学習を振り返って定着するという点で活用できるという思いがしました。

それと、7者のうちで、取り上げている人物の数の違い、これだけの量のものをどういう形で学んでいくのかという部分も非常に気になったところです。

内田委員

なかなか難しいところと思いますが、教科書によって、歴史のいろいろな事項の扱い方に記述量で多少差が見受けられました。そういう意味では、海外の歴史の教科書の一部を引用しているようなものもあえて参考にすることができるのではないかという印象を持っています。

それから、全体的に写真等が多く掲載され、あるいは文字の大きさ等、見やすさに差があったかなと思います。内田教育長も話されましたが、例えば育鵬社の教科書は、扱っている内容も豊富で、ただ、登場人物も非常に多いということで、現場の先生がどのようにこれを処理されるのかなとも感じたところです。

望月委員長

ありがとうございました。

どの教科書も、絵、写真や図が非常にわかりやすく配置されて

おり、大変工夫されていると思うのです。全般的なことですが、教科書は、見せる教科書ではなく、考えさせ、読ませるという視点が大事ではないかと思うのです。昨今の視覚文化の中で、社会科だけではなくて、他の教科書にも同様の傾向が見られますが、チラシ化やアルバム化した教科書などは、これから教科書を編集するに当たって大いに考えていかなければならない。基本的には、読ませる教科書、考えさせる教科書、そういう視点を大事にしていきたいと思います。

歴史上の人物や出来事について、うまくまとめている教科書も幾つかありました。学習課題が明確になっていて、それを補助するような資料や図版を豊富に載せ、生徒が意欲的に学習に取り組める配慮がされている教科書もあり、私はこの視点を非常に大事にしていきたいと考えております。

ほかにありますか。

内田委員

色遣いのお話があったのですが、特に私が気になったのは、キャラクターが出てくるものです。かなり具体的な人物的描写やイラスト的なものなど中学生の教科書としてどういうものが適切なのかと感じたところはあります。

望月委員長

ほかにどうでしょうか。

—特になし—

望月委員長

それでは、投票のほうに行きたいと思いますが、事務局、準備をお願いします。

—投票—

教育指導課長

開票の結果を報告いたします。

望月委員長

社会（歴史的分野）、清水書院4票、教育出版1票、以上です。

それでは、開票の結果、社会（歴史的分野）については清水書院と決定いたしました。

続きまして、社会（公民的分野）について審議を行います。説明をお願いします。

教育指導課長

社会（公民的分野）の発行者は東京書籍、教育出版、清水書院、帝国書院、日本文教出版、自由社、育鵬社の7者です。

調査観点は、諸資料に基づいて、多面的・多角的に考察するために社会的事象に関する基礎的な知識や技能等を習得させるよう配慮されているか。2点目、思考力、判断力、表現力などの能力育成について配慮されているか。3点目、統計その他の資料は最新のもので、信頼性があり、生徒の発達の段階に即しているか。以上の3点について検討しております。

検討委員会では東京書籍について、「最初に公民を学習する上

での指針がはっきり出ていることが大変分かりやすい」という意見、憲法学習で、「公共の福祉の学習では教育出版では空港の問題、清水書院は新幹線の問題、帝国書院は新型インフルエンザの問題、日本文教出版は京都の景観の問題等、具体的な問題を例として取り上げており、生徒が考える教材として適切である」という意見が出ております。さきほどのご議論でも出てまいりましたが、学習のまとめの部分では、発行者によりさまざまな工夫がなされております。例えば、「自由社は重要語句を並べて提示するという編集方法、帝国書院は学習のまとめ方についての具体的な指示を子どもにわかりやすく提示するような編集、東京書籍は生徒が十分に考えた上でまとめさせるようにするという編集、育鵬社は自分の言葉でまとめ、それを通じて思考力、表現力を育成するような編集と各者さまざまな工夫がなされている」という意見が出されております。ほかにも「清水書院はキーワードがはっきりしており、学習しやすい」という意見、「イラストや写真が東京書籍ははっきりしている」という意見が出ています。以上です。

望月委員長  
教育長

検討委員会の結果はどうでしょうか。

中学生、中学校の場合ですと、ご承知のとおり受験、受験対策という点も1つ視野に入れていく必要があると思いますが、そういう意味では、どういう風に学んだこと定着させるか、あるいはどのように自分の中に取り込んでいくか、それぞれ工夫されているという意見としてありました。

望月委員長  
内田委員

それでは、感想、ご意見等、お願いします。

それぞれの出版社が特徴ある編集をされていたと思います。例えば、法律があって法の下での平等があることに対して、みんなでルールを作っていく、ルールと言うものは社会の中、みんなで作っていくことをしっかり理解できる、決まりは変更できるというテーマを掲げている教科書というものはこれからの社会に出て行く中学生にはいい教材ではないかと思います。もう1つ、育鵬社の時間軸と空間軸の中に自分があるというものが、表紙を開けた綴じ込みのところにあるのですが、これはとてもいいものではないかと思いました。

望月委員長  
高橋委員

他にはどうでしょうか。

東京書籍ですが、公民にアクセスというところでより詳しい情報が与えられ、更なる学習意欲が湧くのではないかと、公民にチャレンジでは、何々してみようと投げかけられ、自発的に学ぶ態度ができるのではないかと印象を持ちました。

望月委員長

他にはどうでしょうか。

加藤委員

各者学習のまとめ方と記載の仕方それぞれ工夫があるという話がありましたが、清水書院の公民ファイルというものが非常に興味深く、関心も出るようにまとめられているという印象を持ちました。また、検討委員会で清水書院は用語がはっきりしており、生徒が学習しやすいと思うと意見があり、まったく同じ感想を持ちまして、工夫が非常にされているという印象を持ちました。

教育長

先ほどは触れなかったのですが、検討委員会の意見の中に、子どもたちにとって、まとめやすい形で、教える側にとっても具体的に指導しやすいなどの視点で、帝国書院の教科書という意見があったのですが、全体として振り返りができること、それから学習の狙いがはっきりしていることなどをやはり視点にするべきであろうと思ったところです。

望月委員長

教科書によっては、レポートや卒業論文を作成するためのまとめ方の手順が示されているという出版社もいくつかあったわけでございます。東京書籍の場合は、各章にトライという問題も出ています。この章で学ぶポイントを示し、生徒が興味関心を持てるような作りであると思ったわけでありまして。それから、振り返り学習で学習問題を多面的・多角的にまとめていて確認できるようになっており、良いという感想を持ったわけですが、何かありますか。

望月委員長

—特になし—

それでは、投票に移りたいと思います。事務局、お願いします。

教育指導課長

—投票—

投票の結果をご報告いたします。

望月委員長

東京書籍に4票、清水書院1票、以上です。

それでは、投票の結果、社会（公民的分野）については東京書籍に決定いたしました。記入をお願いします。

教育指導課長

それでは、続きまして地図帳について審議を行います。事務局、説明をお願いします。

地図でございます。地図の発行者は、東京書籍、帝国書院の2者です。

共通する観点とともに、教科・種目別の観点としましては、基本図・部分図・資料図などは適切に配列されているか。統計、各種の資料は、最新のもので、信頼性があり、生徒の発達の段階に即しているか。地図・絵図・索引などが適切であり、生徒の発達の段階に即しているか。この3点を中心に検討しております。

採択検討委員会では、全体的に落ちついた色調である東京書籍と色彩がはっきりしている帝国書院の色調の違いが話題になっ

ております。ほかには、「帝国書院は、サイズが大きくて見やすい、あるいは広げて見ることができる折り込みの日本地図が有効である」という意見が出されております。東京書籍は、基礎・基本の知識と地図帳活用の技術を中心とする第1部と、習得した内容を深め、探求につなげる第2部とで構成されている点の区分について報告がありました。

望月委員長  
高橋委員

検討委員会の報告で何かありますか。

地図を見ていただくと、色彩にはっきりとした違いが見られます。小学校で使っていた地図帳との関連もあり、どちらが生徒にとって扱いやすいかが重要な観点になると思いました。

望月委員長

それでは、地図は2者しかないのですが、感想、ご意見等、お願いします。

加藤委員

見比べさせていただいたところ、最初に見やすさに着目してしまいましたが、サイズ、色分け等、私は、圧倒的に帝国書院が見やすいという気がしています。また、地理の教科用図書採択との統一性という観点も少し考慮いたしまして、帝国書院がよろしいと思っております。

望月委員長  
内田委員

ほかにどうでしょうか。

私も帝国書院では、特に自然環境、エネルギーと関連した日本列島、夜の日本列島などがあり、非常に特徴ある地図帳になっており、見やすいと思いました。

教育長

今回の教科書の選択をするに当たり、見た目の判断等で議論があるかと思うのですが、地図に関しては、非常に細かい部分がありますので、見やすさは大事にしなければいけない。東京書籍は、蛍光灯の下で紙面が反射しない紙質とインクが採用されているということが確認できているのですが、これほどに見やすさ、あるいは見た目の感じが違うのかという印象を持っております。

望月委員長

帝国書院が出ていますが、東京書籍も幾つかいいところがあるのではないかと思います。資料集に人権の観点を取り入れられ、小学校の学習内容と連携した地図帳の使い方が紹介されています。それから、内容面も、日本の国土や領域の範囲、周辺諸国との関係などを多面的にとらえる学習ができるように工夫されている。このような特徴もあるのではないかと思います。

全体的に見ると、帝国書院がすっきりした感じがする印象を私も持っています。地図、グラフ、表等、最新のものを使いながら、うまく項目的に配慮されている思ったわけであります。

ほかに何かありますか。

—特になし—

望月委員長	<p>それでは、投票に移りたいと思います。事務局、お願いします。</p> <p>—投票—</p>
教育指導課長	<p>開票の結果を報告いたします。</p> <p>帝国書院5票、以上です。</p>
望月教育長	<p>地図は帝国書院ということで記入をお願いします。</p> <p>続いて、数学に移りたいと思いますが、事務局、説明をお願いします。</p>
教育指導課長	<p>数学です。数学の発行者は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、数研出版、日本文教出版の7者です。</p> <p>同じく観点としては4点ございます。数学的活動として数や図形の性質などを見出す活動、数学を利用する活動及び数学的に説明し伝え合う活動が適切に配列されているか。基礎的・基本的な知識、技能の定着を図るため、発達や学年の段階に応じたスパイラルによる学習活動は適切に配列されているか。言葉、数、式、図、表、グラフなどを用いて表現したり、説明したり、伝え合ったりする活動が適切に取り上げられているか。そろばん、電卓、コンピュータや情報通信ネットワークなどの利用が適切に設けられているか。</p> <p>各者ともに、学習指導要領の目的に即しながら、基礎・基本の問題から、補充問題、発展問題で構成させており、また、スパイラルに学習に取り組める工夫等もなされております。生徒個々の課題に応じた取り組みができるように編集もなされております。</p> <p>採択検討委員会では、学習内容として、図形の学習展開の方法や正の数、負の数の掛け算の説明方法の教科書による違いが話題になりました。報告書にもありますように、正の数、負の数の掛け算については、「帰納法的な方法を記載した啓林館がわかりやすい」という意見がありました。また、教育出版は、「1のポイントが小さいものの、その分、問題数が多い」という意見、また、「教材の導入で学校図書の編集に工夫がある」という意見、「学習のまとまりが見開き2ページでまとめられていて構成上見やすい」等の意見が出ております。</p>
教育長	<p>数学に関して教科書全体を見てみますと、委員会の意見でもありましたが、導入の仕方がそれぞれ異なり、例えば関数では、目次で「関数」とうたって、項立てをして取り組んでやっているものとそうでないもの、平方根でルート2がポンと出てくるなど非常にインパクトが強いものも中にはありました。そういう意味では、編集者の考え方なのか、学習の流れというものが内容によって微妙にそれぞれ違いがある状況がわかったところです。</p>
望月委員長 加藤委員	<p>ほかにどうでしょうか。</p> <p>数学の教科書を見比べて、1つおもしろいと思ったのが、同じ</p>

単元でも、パソコンの表計算ソフトの使い方の表記がある教科書、ない教科書があり、これからの時代、そういった必要になってくるのかという印象を持ちました。

また、教科書によって練習問題の記載されている量にかなり差があると思います。恐らく副教材も使用していくことになると思うので、バランスも考えていかなければいけないと思いました。中でも啓林館が非常に丁寧な記載がされ、重要な箇所と背景の色を変えて、重要なところが一目瞭然でわかりやすい印象を持ちました。

望月委員長  
内田委員

ほかにどうでしょうか。

啓林館だと思うのですが、1年生の導入のところは例が多く、裏表紙の内側に1年間のまとめがあるところ、各学年に「数学広場」が書かれ、応用を考えていくところがあるのですが、これは他者にもあるのですが、日常生活への応用を考える、あるいは数学的な発展を考えていくところで、数学のおもしろさを感じ取らせるような教材になっているのではないかと私は思いました。

望月委員長  
高橋委員

ほかにありませんか。

中1ギャップという言葉があるように、算数から数学へ変わるときは大変重要なことだと思います。そこで小学校との学びの連続という面で導入部分がわかりやすく説明されていた啓林館がいいのではないかと印象を持ちました。

望月委員長

それぞれの教科書にいい点がたくさんあるのですが、学校図書なども、すべての章につながる活動に重点を置いて学習できるページが設けられ、数学的活動を示すマークが配置されるという配慮等もあるわけです。啓林館については、いろいろ意見が出ましたように、例えば電卓を使うことが望ましい場面では電卓マークを示し、利用できるようになっている、繰り返し練習で基礎・基本を整理し、そしてまた基礎・基本を身につけることが、できるのではないかと、そのような印象を持ったわけでありませう。

教育長

先ほどもご意見がありましたが、小学校から中学、算数から数学という、私も当時は、難しいようなイメージを持っていました。そういう意味では、非常に大事にしないといけないのは、導入のしやすさや1年生のときの入りやすさを大事にするべきだと思います。検討委員会の意見の中では、学校図書や啓林館は1年生が入りやすいというような指摘もありましたので、見てみますと確かにそういう部分の印象は受けたところです。

望月委員長

小中の接続、連携とか、本市で目指しているのは、幼小中一貫教育や施策を重点に上げて秦野市は推進しているのですが、どの



望月委員長

教育指導課長

望月委員長

教育指導課長

望月委員長

高橋委員

教科書も、小中一貫という視点、そのことを通しながら、数学だけでなく、そのほかの教科書も読ませていただきましたが、各者はいろいろ工夫されている印象を持ったわけでありませう。

投票に移っていいですか。

—異議なし—

では、お願いします。

—投票—

開票結果を報告いたします。

数学、啓林館4票、学校図書1票、以上です。

それでは、開票の結果、数学については啓林館に決定いたしました。ご記入ください。

続いて理科に移りたいと思いますが、説明をお願いします。

理科について、ご報告いたします。

理科は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館の5者です。

教科・種目別観点は4点ございます。科学に関する基本的概念の定着が図れること、科学的な見方や考え方、総合的なものの見方が育成できるよう配慮されているか。科学的な思考力、表現力の育成が図れるよう、目的意識を持って観察、実験を主体的に行い、観察、実験の結果を分析し解釈する能力や、導き出したみずからの考えを表現する能力の育成に配慮されているか。科学を学ぶ意義や有用性を実感させ、科学への関心を高められるよう、日常生活や社会との関連が図られ、環境教育の充実が図られたりするよう配慮されているか。4点目、科学的な体験、自然体験の充実を図るため、原理や法則の理解を深めるためのものづくりや継続的な観察や季節を変えての定点観測など、科学的な体験や自然体験の充実が図れるよう配慮されているか。以上4点となっております。

検討委員会の中では、「大日本図書の写真は中学生が実験・観察などの作業をしているものが多く、親しみやすい。また、説明のポイントが整理されていてわかりやすい」という意見、啓林館は、「資料が豊富で図解に工夫が見られる。また、コラムが学習内容と関連していて扱いやすい」という意見、東京書籍は、「全体的に記述の仕方がすっきり、はっきりしており、わかりやすい」という意見、教育出版は、「小学校で扱った実験との系統性を示している」という意見等が出ております。

それでは、何か補足はありますか。

実験での事故を防ぐ手だての記述について、検討委員会のほうで話題になりました。その点では、啓林館、東京書籍の記載が評

望月委員長  
教育長

働かされていました。

いかがでしょうか。

理科の実験の関係ですが、事故があることを前提で考えると、やはり必要なことだと思いました。実態がわかるものがない印象を持ちましたが、それぞれに個性がありますので、親しみやすさを含めて、そうしたものの視点を見ていきたいと思いました。

望月委員長  
内田委員

ほかにどうでしょうか。

理科の教科書も、それぞれ特徴あるまとめ方をされていると思いました。東京書籍さんは「ライフ・サイクル・アセスメント」を取り上げて、非常にユニークだと思ったのですが、特に環境教育につながる部分ですが、啓林館は、物質エネルギー、環境というような展開になっていまして、エネルギーや持続可能性、あるいは科学技術に関する記述のところがつながりがとてもよいと思いました。

加藤委員

私も、啓林館が、図解や実験の際の注意点等、非常に網羅されていていいと思いました。以前、小学校の教科書採択のときにも申し上げたのですが、全体的に実験結果が非常に細かく書かれて、これは教科書である以上しようがないのかもしれないんですけど、実験というものは、結果に驚きがあったり、そこで発見があったりして学んでいくのがいいのかなと思ひまして、次のページをめくると結果がわかってしまうという構成は、もう少し考えていけないのかなという印象を持ちました。

教育長

実は、全体の理科の教科書を見たときに、啓林館は、非常にボリュームがあるように見えたのですが、中に「マイノート」というものが使っている。「マイノート」の取り扱い方についても報告を受けましたが、基本の定着から応用までという表現になっているのですが、学校現場でこれがどのように扱われるのか、あるいは扱ってはいけないのか、あるいは扱うことができるのか、そういうことが気にかかった部分です。

高橋委員

私もそうです。啓林館の「マイノート」ですが、これは書き込み式になっているので、知識の定着を図るのにはいいのではないかと思います。また、啓林館はコラムが大変充実しており、資料も豊富なので、興味深く読ませていただきました。

望月委員長

この啓林館や大日本図書が各単元の導入でこれまで学習した既習内容を振り返ることができるようになっている、あるいは学習内容ごとに問いで基本を押さえるように配慮されている工夫が幾つかあったわけでありまして。先ほど、内田委員から環境問題についての話があったのですが、そういう面で見ると、例えば啓

望月委員長

教育指導課長

望月委員長

望月委員長

教育指導課長

望月委員長

高橋委員

林館は、学年の発達段階に応じた環境に関する話題が提供されている印象を持ったわけです。それから徐々に環境の問題についての意識づけが働いていくような配慮も講じているという感想を持ったわけでありませう。

ほかにどうでしょうか。

—特になし—

では、事務局、投票のほう、よろしくお願ひします。

—投票—

理科の報告をいたします。

理科につきましては、啓林館4票、大日本図書1票、以上です。

開票の結果を報告します。理科については啓林館に決定しましたので、ご記入ください。

それでは、ここで休憩をとりたいと思います。午後2時40分に再開としたいと思います。それまで休憩です。

—休憩—

それでは、再開いたします。

まず、音楽（一般）について審議を行います。説明をお願いします。

音楽（一般）についてご報告いたします。発行者は、教育出版と教育芸術社の2者です。

教科・種目別の観点としましては4点、音楽に対する感性を豊かにし、主体的な学習活動に関して配慮されているか。表現や鑑賞及び共通事項の学習内容が相互に関連しながら取り扱われ、音楽活動の基礎的な能力を伸ばす学習の展開は工夫されているか。表現や鑑賞の教材は、多様な音楽の中から適切に選択されているか。音楽文化についての理解を深める学習内容は充実しているか、となっております。

検討委員会の中では、教育出版については、「合唱曲がバラエティーに富んでいる。ページごとにねらいが見出しとなってわかりやすい。教材が生徒にとってなじみやすい」といった意見、教育芸術社については、「言語活動を意識した編集になっている。合唱曲の中に興味を引く選曲がなされている」という意見が出ておりました。

それでは、検討委員会のほうはいかがでせうか。高橋委員、どうですか。

今、説明がありましたが、教育出版は楽譜が読みやすいということがありました。また、「メッセージ・フォー・ユー」という欄がありますが、曲のイメージを膨らませるのに役立つのではないかとお願ひしました。

望月委員長  
加藤委員

ほかにどうでしょうか。

私も教育出版は、ページ左側の見出し等が見やすい位置にあり、どういったことに着目して学習を進めていくのかが非常に理解しやすいと思いました。

望月委員長  
内田委員

ほかにどうですか。

音楽ということで、なかなか難しいのですが、子どもたちから見たときに、どちらかといえば教育出版の楽譜が見やすいという印象を受けました。

教育長

音楽に関しては、この後に器楽も出てくるのですが、教育委員会の中で、必ずしも音楽の一般と器楽が連動していなくてもというような話もありましたが、私が全体を見た中では、例えば、編集者のほうが一貫性を持って考えているとも思って見てみました。そういう意味では、それぞれの個性が大変出ているという印象を持って見ておりました。

望月委員長

教育出版は、生徒に音楽の興味を持続させる配慮がされていると思います。曲を見ても、今の中学生の心をつかんだ曲などが入っているというようなことも思います。教える教師側に立ってみると、非常に授業展開がわかりやすいというようなところに工夫が見られたというようなことが私の感想であります。

ほかにありますか。

—特になし—

望月委員長

それでは、ないようですので、投票のほうをお願いします。

—投票—

教育指導課長

音楽（一般）、ご報告いたします。

音楽（一般）につきましては、教育出版4票、教育芸術社1票、以上です。

望月委員長

それでは、開票の結果、音楽（一般）につきましては教育出版ということに決定いたしました。ご記入をお願いします。

それでは、音楽の器楽・合奏について、お願いします。

教育指導課長

音楽（器楽・合奏）について、ご報告いたします。発行者は、教育出版と教育芸術社の2者です。

教科・種目の観点としましては4点、音楽に対する感性を豊かにし、主体的な学習活動に関して配慮されているか。表現や鑑賞及び共通事項の学習内容が相互に関連しながら取り扱われ、音楽活動の基礎的な能力を伸ばす学習の展開は工夫されているか。表現や鑑賞の教材は、多様な音楽の中から適切に選択されているか。音楽文化についての理解を深める学習内容は充実しているか。この観点で調査しております。

どちらの教科書においても、新しい学習指導要領に見られる我

が国の伝統音楽を題材として多く取り上げており、また、楽しく音楽活動を行うための創意ある編集や基礎・基本的な音楽的知識を定着するための工夫がなされています。

検討委員会としては、教育芸術社の言語活動を生かした編集のよさ、あるいは、ビートルズの曲を用いて楽器を紹介したりする生徒が興味を持って取り組める配慮等が話題になりました。教育出版につきましては、生徒が各楽器の基礎的な奏法を身につけ、主体的な学習活動ができるよう工夫されている点が報告されています。

望月委員長  
高橋委員

検討委員会ではどうですか。

検討委員会では、編集の工夫について教育芸術社を評価する声が多かったと思います。例えば1年で、和楽器、琴や三味線の奏法が説明されているのですが、写真がより効果的に使われているのが教育芸術社ではないかと思いました。

望月委員長  
加藤委員

ほかにどうでしょうか。

検討委員会の意見でも、ビートルズの曲を用いて非常に興味を引くことができる構成だという意見がありましたが、今の中学生にとってビートルズはピンと来るのかということがわからないところがあり、疑問がありました。そして、各楽器の演奏方法が丁寧に詳しく書かれているところで、例えば、先ほどの意見と全く相反してしまうのですが、私としては、教育出版のほうが丁寧に説明されているという印象を持ちました。

望月委員長  
内田委員

ほかにどうでしょうか。

ビートルズが今の世代にとって、どうかという意見がございましたが、いろいろな意味で、家庭での学習とかも考えますと、そういった曲を扱っているのは教材的にもおもしろいのではないかとはいえます。

教育長

これは単純な印象なのですが、どちらもすべて網羅されている、それは全体を見てわかるのですが、導入の部分で和と洋というような印象を受けました。どちらから入っていくのがいいのか、あるいは、先ほどから聞きますように、ビートルズは私の世代では非常に興味を引くところですが、今の子どもたちにとってどの程度か。加藤委員から話がありましたように、今は古典のものとビートルズが同じレベルぐらいになっているとも思いながら、和と洋という感覚で見た次第です。そういう意味では、音楽（一般）の部分と器楽との連動性もと言ったのですが、そういう視点も見るべきなのかというようなことも思っています。

望月委員長

私はそういう観点では見なかったのですが、教育芸術社は、アルトリコーダーに主眼を置いている印象を持ちました。アルトリ

望月委員長

教育指導課長

望月委員長

教育指導課長

望月委員長

高橋委員

コーダーの基礎的な知識とか演奏方法などを丁寧に扱っている感じを持ちました。それから、取り組みやすい曲目から徐々にさまざまな曲になれ親しむようにしている。徐々にさまざまな曲に持って行って、そして、やや難しい曲にもなれ親しむような工夫があるかなと、こんな印象を持ちました。

それでは、ほかにありますか。

—特になし—

では、投票のほうに移りたいと思います。

—投票—

音楽の投票結果をご報告いたします。

音楽（器楽・合奏）、教育芸術社4票、教育出版1票、以上です。

よって、音楽（器楽・合奏）につきましては教育芸術社に決定いたしました。ご記入をお願いいたします。

では、続きまして美術について審議をしてまいります。説明をお願いします。

美術の発行者は3者、開隆堂、光村図書、日本文教出版です。

調査の観点、教科・種目別の観点としまして3点、生徒がみずからつくり出す喜びを味わえるように、表現及び鑑賞の内容が適切であり、表現活動の内容を関連づけたり一体的に扱ったりして活動の幅が広がる題材になっているか。表現や鑑賞、美術文化などに係る作品は、表現の方法や教材などが多様なものから適切に選択され、生徒が関心や親しみの持てる作品であるか。印刷やレイアウトは、色彩豊かでバランスのとれた構成となっているか。この3点について検討しました。

3者ともに、生徒の立場に立った視点で、製作したくなる気持ちを喚起するような工夫や興味を引きつける作品ページに配慮した編集がなされております。その中で、日本文教出版は、生徒が意欲的に取り組める工夫がある点、資料や題材が適している点、3冊分冊が使いやすいといった点が意見として出されました。開隆堂は、身近なものから設定された題材が多いという点が、また光村図書は、両観音開きの大きな紙面のレイアウトページにインパクトがあるということが報告されておりました。

検討委員会のほうからいかがでしょうか。

中学校の発達段階を考えたときに、教科書に提示される作品は中学生による優れた作品を掲載すべきか、芸術家による完成度の高い作品のほうがいいのか、というような議論になりました。また、より高いレベルの作品を目指すというような観点からは、やはり、芸術家による作品のほうを多く載せたほうがいいのではな

望月委員長  
内田委員

いかというような意見になったと思います。

ほかにいかがでしょうか。

美術の教科書ということで、非常に懐かしいと思ったのですが、芸術あるいは美術が我々の生活等の中でどのようにかかわってくるかを考えますと、例えば日本文教出版は、切り口の「つながり」、「生きる」や「伝え合う」といったカテゴリーの分け方がいのように思いました。

教育長

美術に関しては、学生たちの作品、それとも芸術家の作品という議論があったという話がありました。本物を鑑賞できれば一番いいと思うのですが、それができないのであれば、なるべく子どもたちの感性に訴えるような、現時点でわかるすばらしい作品に触れてもらうということが大事なのではないかとあって、この教科書両方を見てみました。そういう意味では、日本文教出版がそういう事例としては多いとは思っています。中学生のときに感性を磨くということをぜひやってほしいという思いは持っています。

加藤委員

私も、美術は、教科・種目別の観点を読んだところで一番悩んだ科目ではありますが、先ほど検討委員会でも出ているとおり、本物に触れるというところは一理あると思います。私もそのような観点で見させていただきました。3者読み比べていき、単純に取り扱う作品に自分が興味を引かれたかどうか、また、その作品に関する説明文のわかりやすさという観点から、日本文教出版がいいのかなと思っています。

望月委員長

開隆堂は、2年、3年の内容を1冊にまとめることによって、さまざまな作品が紹介され、おもしろいと思ったのですが、美術もこういうような面から考えていくことが大事であると改めて思ったのですが、巻頭に生活や社会あるいは環境と美術がどう関係しているのかという例を挙げて、美術の果たす役割について述べていることに大変共感を覚えたわけであります。

ほかにありますか。

—特になし—

望月委員長

それでは、投票のほうに移りたいと思います。

—投票—

教育指導課長

美術について、投票結果を報告いたします。

美術につきましては、日本文教出版5票、以上です。

望月委員長

投票の結果、美術につきましては日本文教出版に決定いたしました。記入してください。

では、次に保健体育について審議を行います。説明をお願いし

教育指導課長

ます。

保健体育の発行者は、東京書籍、大日本図書、大修館書店、学研教育みらいの4者です。

教科・種目別の観点については3点、生徒みずから課題を設定し解決に向けて取り組み、その過程を振り返る学習により、問題解決の能力を育成することに適した内容になっているか。健康・安全について生徒が興味関心を高め、科学的な理解を促すための資料が取り上げられているか。科学的な理解を深め、思考力・判断力等を育成するために知識を活用する学習が適切に取り上げられているか、について検討いたしました。

検討委員会では、大日本図書は、「図表、写真が多く、わかりやすい」という意見、学研教育みらいは、「教材の説明がコンパクトにまとまっていてポイントがしっかり押さえられている。また、写真、グラフデータが多く、色遣いも見やすい」などの意見が出ております。ほかの2者につきましては報告書をご参照ください。

望月委員長  
高橋委員

高橋委員、ありますか。

心肺蘇生の学習は生徒にとっても大変大切なものだと思いますが、写真やイラストを使って具体的でわかりやすいというのが東京書籍、大日本図書、学研教育みらいの3者でした。

望月委員長

ただいまのは検討委員会の報告ですが、何か委員さんの意見はありますか。

加藤委員

各者とも、しっかりと網羅すべきところは押しなべて同じように取り上げられている印象を受けました。そうすると、最終的にはレイアウトや見やすさになってくるのかと思いますが、写真、グラフデータが多くという意見も検討委員会のほうからありましたが、その辺の使い方、バランス、配置から考えて、学研教育みらいが一番見やすいと思いました。

高橋委員

学研みらいは、応急手当の手順などを実生活へ生かすための体験的学習が取り入れられています。興味深いと思ったのは、鼻血の手当ての際に、「DON'T」というところがあり、「綿やちり紙を鼻に詰めない」など、非常に具体的な指示で実生活に役立つような知識がわかりやすく書いてあるところがよかったです。それと、喫煙とか飲酒、薬物乱用と健康との関係、その防止対策なども結構詳しく述べられていて、大変興味深く読みました。

望月委員長  
内田委員

ほかにどうでしょうか。

東京書籍は確認問題があり、覚えやすいという感じです。学研は、写真よりイラストが多いので、そういった点も良いと思いますが、大日本図書は、特に薬あるいはお酒などの説明に関して



望月委員長

の記述が学研よりも多く出ており、そのあたりは重要な項目かなとは感じました。大修館は、裏表紙にいろいろ説明もあるというところに注目しました。

私は大修館を推薦したいと思います。まず、生徒の興味・関心に応える発展的な項目とか資料が非常に豊富にあるのではないかな。それらが関連する項目の近くに配置されていて扱いやすいというきめ細かさもあると思いました。それから、生徒の理解を助ける興味深いコラムとか事例が適宜に配置されていること、各章末に「学んだことを振り返ってみよう」ということがあり、そこで学んだことが身についたかを確かめて復習する機会となっているのではないかと思います。

教育長

以上のことから、大修館がいいのではないかと思います。

保健体育に関しては、直接体に結びつくような部分、あるいは体の対応ということを見ると、1つは、心肺蘇生の話がありましたが、写真とかイラストで表現をする、そういう意味では、直接具体的なものであれば、きちんとそれが理解できるという正確さというようなものも必要なのではないかと思います。イラストが悪いとか、あるいは写真がいいとか悪いとか、そういう意味ではなく、少なくともきちんと正確なものを伝えるということ、そういうものがポイントとして整理されているかどうか、そういう視点で見させていただきました。

望月委員長

ほかにありますか。

—特になし—

望月委員長

それでは、ないようですので、投票に入りたいと思います。事務局、お願いします。

—投票—

教育指導課長

それでは、保健体育につきまして報告いたします。

保健体育については、学研教育みらい3票、大日本図書1票、大修館書店1票、以上です。

望月委員長

それでは、開票の結果ですが、保健体育につきましては学研教育みらいに決定しました。ご記入をお願いします。

それでは、次に技術・家庭の技術分野について審議を行います。説明をお願いします。

教育指導課長

技術分野の発行者は、東京書籍、教育図書、開隆堂の3者です。

教科観点としましては3点、生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得のために、製作、整備、操作、調理などの実習や、観察・実験、見学、調査・研究などの実践的・体験的な学習活動が適切に取り上げられているか。生活と技術とのかかわりに

ついて理解を深めるよう配慮されているか。進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てるための学習活動や資料等が適切に取り上げられているか、について検討しております。

どの発行者においても、安全面での配慮については工夫した編集を行っております。その中でも東京書籍は、「写真や図を用いての記載が充実している」という意見がありました。また、東京書籍は、「身近なものの仕組みについて詳しく書かれている」という意見、教育図書は、「教科内容で設計図的な編集を行っているページが多く、マニュアルとして使用する場合に使いやすい」という意見が出ております。開隆堂については、学習のまとめとして項目チェックの形で自己評価、学習確認ができるようになっていく工夫点が報告されております。

望月委員長  
教育長

検討委員会のほうでいかがでしょうか。

説明の中で、設計図的な編集という話がありました。教科書の中身を見てみますと、それぞれ一定のものを完成させる過程の中で、非常に細かく、設計図といえば設計図というような形で編集されているものがある。これについては、教科書の作品だけをつくることでは非常に便利なのですが、例示以外のものに発展する場合、それ自身が必要なくなってしまうのではないかと、いうならばデメリットといたしますか、そういうことが委員会の中では話題になったところです。

望月委員長  
加藤委員

ほかにご意見等、ありますか。

私は、開隆堂は、製作、特に木工のあたりが詳細に記載をされ、非常にわかりやすく、評価をしたいところです。この開隆堂は、情報の単元で、情報社会のモラル、また教員に対するセキュリティー等も非常に詳細で、また、実際の社会に則した、実践的な記載内容が一番厚く記載されていたのかなという印象を持っています。

内田委員

検討委員会でもいろいろな意見があったようですが、例えば東京書籍は、細かい工作の説明などはいいという印象がありました。開隆堂は、事例が多く、東京図書は、細かいところまで説明しているイメージです。

情報関係では、生徒が論理的な物の考え方につながっていく、いわゆるフローチャートの作り方等、そういったフローチャートを学ぶところでは、初めて学ぶところの段階としては、東京書籍がわかりやすいというイメージです。

望月委員長

東京書籍がいいという感想を持ったのですが、基礎的、基本的な知識、技能の習得ができるように学習の目標がきちんと示されていると思ったのです。従って、学習状況が確認しやすいのでは

教育長

ないかということをおもいました。それから、環境問題や伝統文化について具体的に記載され、生徒が生活に生かしやすい配慮が東京書籍にはあるのではないかとおもいました。もちろん、ほかの教科書も幾つかあるのですが、例えば開隆堂は、ガイダンスの内容に日本の技術の伝統が過去からまとめられ、その技術を生徒が未来に向かってどのように工夫し、創造したらよいかということも示され、総体的に見ると東京書籍ということをおもいました。

先ほど、検討委員会の設計図的という話をしましたが、思い起こすと、私が中学時代に本箱をつくり、それがいまだに現役で生きているのですが、当時のことを思ってみますと、ここまで何ミリと正確にやったかという印象を持ってこの教科書をそれぞれ見てみました。そのままマニュアル的なもの、あるいは、そのものを全部つくろうということでは、それぞれの個性があつて、できるのですが、その中でもより一層細かかったのが教育図書でした。そのまま使える。逆に、そこまで必要かなというような印象も持ったところですよ。それから、東京書籍にはチェックという項目があり、回答を求めていく部分があり、確認の意味では必要なのだなという印象を持って見させていただきました。

望月委員長

ほかにありますか。

—特になし—

望月委員長

それでは投票に移りたいと思います。

—投票—

教育指導課長

技術・家庭（技術分野）の投票結果をご報告いたします。

技術分野につきましては、東京書籍4票、開隆堂1票、以上です。

望月委員長

それでは、開票の結果、技術分野につきましては東京書籍に決定いたしました。ご記入をお願いします。

それでは、記入できたようですので、家庭分野をお願いします。

教育指導課長

家庭分野の発行者も技術分野同様、東京書籍、教育図書、開隆堂の3者です。

観点も、先ほどの技術と同じ観点でございますが、3点、生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得のために、製作、整備、操作、調理などの実習や、観察・実験、見学、調査・研究などの実践的・体験的な学習活動が適切に取り上げられているか。生活と技術とのかかわりについて理解を深めるよう配慮されているか。進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てるための学習活動や資料等が適切に取り上げられているか、について検討しました。

検討委員会では、小学校の家庭科の学習との連続性、関連が話題になっております。「小学校の教科書ではイラストが多く使われておりますが、中学校では、より高度なものを目指すという意味で、東京書籍のように実際の写真が多く示されているほうが望ましい」という意見、また、東京書籍は、「小学校の学びの振り返りも押さえられており、自学自習となる手順も示されている」という意見も出ております。教育図書は、「口絵の6つの基礎食品群と食品摂取量がわかりやすく出ているところがよい」という意見、開隆堂につきましては、「学習の流れが見通しを持って学習に取り組むことができるように配慮されている」という報告がありました。

望月委員長  
高橋委員

補足は何かありますか。

家庭分野は、本市の幼小中一貫教育の考え方からしても、小学校との連結が大変重要になる教科だと思っております。検討委員会では、写真の取り扱いや小学校で学んだことを確認する編集となっている東京書籍を評価する声がありました。

望月委員長  
高橋委員

ほかにいかがでしょうか。

食生活を考えようということで、6つの基礎食品群と食品摂取量の記載がわかりやすく載っていて、献立作成用として栄養を考えて食事の計画や選択について基礎的に学べるようにできている教育図書がいいという印象を持ちました。

望月委員長  
加藤委員

ほかにどうでしょうか。

先ほどから写真の取り扱いに関して話が出ていますが、私も写真は多く用いるべきだと思っています。東京書籍が写真の掲載が多いという意見もありましたが、開隆堂も一定量の写真が用いられていて非常に見やすいという印象を持っています。また、各職種の方から中学生へのメッセージが掲載されているというところに関しても、非常に関心を引かれるという印象を持っています。

望月委員長  
内田委員

ほかにどうでしょうか。

家庭科は環境との関わりがますます重要になってくるのではないかと考えています。そういう意味では、環境を踏まえた消費を開隆堂が扱っています。東京書籍でも、3Rを扱っているところが目について、印象としてはよかったですと思います。

教育長

家庭科の教科書をそれぞれ見まして驚いたのは、内容が非常に微に入り細に入り充実している。特に調理という部分で見ても、そのまま市販のレシピ本のような構成になっています。細かい説明があり、そのまま調理をすれば完成するという形式になってお

望月委員長

り、驚いたというのが感想です。ただ、全体を見まして、一部に説明文が細かくて見やすさの点で気になるものもあったのは事実です。そういう見方をさせていただきました。

教育図書などは、具体的な実践例が示され、小中連携などつながりから発展まで個々の課題に応じた対応がしやすい工夫がなされているという感想を持ちました。また、学校図書では、衣服の適切な手入れや安全で快適な住宅環境の整え方の基礎・基本がポイントとして絞られていて、実践に生かせるようになっているか。あるいは、スポーツと栄養のかかわりなど、中学生にとっては身近な題材が取り上げられ、実生活にすぐ生かすことができるような工夫・配慮がされているか、そんな感想を持ちました。

ほかにありませんでしょうか。

—特になし—

望月委員長

では、投票をお願いします。

—投票—

教育指導課長

技術・家庭（家庭分野）の投票結果を報告いたします。

家庭分野は、東京書籍3票、教育図書1票、開隆堂1票、以上です。

望月委員長

開票の結果、家庭分野につきましては東京書籍に決定いたしました。ご記入をお願いいたします。

では、最後、英語のほうに移りたいと思います。教育指導課長、お願いします。

教育指導課長

英語の説明を申し上げます。

英語の発行者は、東京書籍、開隆堂、学校図書、三省堂、教育出版、光村図書の6者です。

教科・種目別の観点としまして3点、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」についての言語活動をバランスよく配置し、コミュニケーション能力の基礎を養えるように工夫されているか。入門期では、小学校で扱った音声や表現などを取り入れるなど、小学校における外国語活動との関連に留意した構成となっているか。世界の文化や暮らしなど、国際理解を深めることにつながる興味・関心を引き出し、育てる内容が適切に取り上げられているか、について検討しました。

検討委員会では、2点目に申し上げました、小学校の高学年において外国語活動が決まったこともあり、小学校で扱った内容から中学校の英語へどのように移行するかが話題となっております。各発行者とも、英語の入門期には、小学校の外国語活動で重点的に行っております「聞く」「話す」活動から導入するなどの工夫点が見られます。その中で、開隆堂は、「入門期の学習で比

望月委員長  
高橋委員

較的日本語を多く記載しており、なじみやすい。また、日常生活の中で生きる観点で編集されており、親しみやすい」という意見、三省堂は、「全体的に『読む』『書く』『話す』『聞く』の内容のバランスがよい」という意見、東京書籍は、「モデル対話文が左右にはっきり分かれ、自分が何をするのがわかりやすい」という意見等が出ております。あとは報告書をご参照ください。

何か補足等ございますか。

英語の教科書は、英語の単語や文法を学ばばよいということではなく、英文を通して世界の文化や民族に触れて国際理解を深めるという編集がされている教科書もありました。また、報告書にもありますが、三省堂にはキング牧師の演説が取り上げられており、英語を学ぶからにはぜひ覚えてほしい内容だという気がしております。また、三省堂ですが、2年生のところではカンボジアの地雷、地球環境問題というスピーチの内容もありました。編集がおもしろいなと思ったのは、地球環境問題についてのスピーチが例示されていて、そのスピーチの内容が後ろのほうの付録のところに「ファーザー・リーディング」というところで記載されているというのも、編集上の試みが新鮮な気がしておもしろいと思いました。

望月委員長  
教育長

検討委員会の報告ですが、ほかにどうでしょうか。

全体を見たときに、私たちが当時受けた英語の授業の教科書の印象を思い起こしているのですが、開隆堂の「友達をつくろう」「自己紹介」など、最初に接したものがいまだに生きているという、そういうようなことを思ったのですが、それぞれ入り方が微妙に違っている。そういう意味では、検討委員会の中で、開隆堂の1年の「Let's start」で、小学校でなじんだ単語を使った音声重視の導入立て、こういうつながりのことを報告があったのですが、連続性を考えたら、そういう視点も必要であると思いました。しかしながら、全体としてバランスがとれていないといけないという見方をいたしました。

望月委員長  
加藤委員

ほかにどうでしょうか。

各者それぞれ特徴があると思います。検討委員会の意見にもあるように、東京書籍のモデル対話文が非常にわかりやすく書いてあることも同じような感じを受けたところでもあります。そして、非常に特徴的といいますか、投票時の大きな要因になるかと思うところで、社会問題を大きく取り上げている三省堂は、国際情勢を理解する上でも非常にいい教材が選ばれていると思います。

望月委員長  
内田委員

ほかにどうでしょうか。

なかなか難しいのですが、スピーキング、リスニングに少しウ

望月委員長

エートが置かれるようになってきたとは思いますが、ある程度、文法的も並行して学んでいくことも大事とは感じました。そういった意味では、「NEW CROWN」は、文法のまとめがいいタイミングで出てきている気がしました。それから、英語の独特の表現で、「There is」とか「This is」という主語が日本語と構文が変わる表現も早目に出てきている感じがしました。印象としてはそういったイメージです。

ほかにいかがでしょうか。

私は、開隆堂と三省堂、東京書籍がいいと思ったのですが、いわゆる英語教育では、今年度から、小学5年生、6年生が外国語活動として正式に導入され、そのつなぎの視点から考えたのですが、開隆堂はなかなかよくできていると思います。ただ、三省堂も、冒頭に「Get Ready」などを設けて、「聞く」「話す」ことを通しながら英語に親しめる工夫がなされていると思いました。また、三省堂は、レッスン1からレッスン3まで、聞くことを中心とした音声重視の導入でスムーズに中学校の英語に入れるように配慮されていると思いました。

加藤委員が先ほど話をしました社会問題なのですが、これは三省堂の伝統的な編集の仕方であって、今回もそれが受け継がれていると思います。三省堂は今までは文法の整理が余りよくなかったのですが、今回のものを見てみると、非常に機能的にうまくまとまっているような印象を持ったわけであります。

それから、他の教科もそうですが、英語は、基礎・基本を確実に定着させるということが非常に大事になってくる。それには、繰り返し、段階的に育成できるような言語配列や教科書全体の配列というものが非常に大事になってくるのですが、3者を比べると、どの教科書もその辺については十分配慮されているのですが、三省堂が一番工夫されていると思いました。しかし、ちょっと今度の三省堂の教科書は読みにくい印象を受けました。

ほかにありますか。

—特になし—

望月委員長

では、投票をお願いします。

—投票—

教育指導課長

英語の開票結果をご報告します。

英語につきましては、三省堂4票、開隆堂1票、以上です。

望月委員長

それでは、開票の結果、英語については三省堂に決定いたしました。ご記入をお願いいたします。

それでは、各種目別の審議、ありがとうございました。これで

望月委員長

15種目すべての採決を終了いたしました。採決された発行者について記した資料を今作成していますので、しばらくお待ちください。

それでは、ここで休憩をしたいと思います。午後3時50分まで休憩といたします。

—休憩—

それでは、再開いたします。

教育指導課長

ただいま配られた教科用図書の一覧表について、確認のため、事務局より説明してもらいます。お願いします。

種目、発行者の順に読み上げたいと思います。

国語 東京書籍、国語・書写 東京書籍、社会（地理的分野） 帝国書院、社会（歴史的分野） 清水書院、社会（公民的分野） 東京書籍、社会・地図 帝国書院、数学 啓林館、理科 啓林館、音楽（一般） 教育出版、音楽（器楽・合奏） 教育芸術社、美術 日本文教出版、保健体育 学研教育みらい、技術・家庭（技術分野） 東京書籍、技術・家庭（家庭分野） 東京書籍、外国語・英語 三省堂。

以上、ご記入をよろしく願いいたします。

望月委員長

ご確認、よろしいでしょうか。

それでは、採決に移ります。

議案第22号「平成24年度に使用する中学校の教科用図書の採択について」は、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

—異議なし—

望月委員長

よって、議案第22号は原案のとおり可決されました。

続いて、議案第23号「平成24年度に使用する小学校の教科用図書の採択について」の審議を始めます。

それでは、提案理由の説明をお願いいたします。

教育指導課長

それでは、議案第23号「平成24年度に使用する小学校の教科用図書の採択について」、ご説明申し上げます。

平成24年度に使用する小学校の教科用図書については、昨年、新学習指導要領のもとで採択が行われ、議案第23号についております。国語から保健まで、その発行者が各種目で昨年度に採択されました。義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令を見ますと、第14条に、種目ごとに同一の教科用図書を採択する期間は、学校教育法附則第9条に規定する教科用図書を除いて4年とすると法で定められております。本年度は2年目でございますので、昨年度から本年度に関しまして発行者等



望月委員長

の問題もなく教科書が来ておりますので、平成24年度もこの発行者により採択をお願いしたく提案いたします。

説明が終わりました。

それでは、ご意見、ご質問、ございますか。

—特になし—

望月委員長

これは昨年に審議したところでありますので。

それでは、採決に移ります。

議案第23号「平成24年度に使用する小学校の教科用図書の採択について」は、原案どおり可決することに異議ございませんか。

—異議なし—

望月委員長

よって、議案第23号は原案のとおり可決されました。

続きまして、議案第24号「平成24年度に使用する学校教育法附則第9条による教科用図書の採択について」の審議を始めます。

それでは、提案理由の説明をお願いいたします。

教育指導課長

ただいま、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令の中で、附則第9条に規定する教科用図書を採択する場合を除き4年とするとご説明申し上げました。この附則第9条による教科用図書と申しますのは、特別支援学級においては、文部科学省の検定を経た教科用図書または文部科学省名義の教科用図書以外の図書を採択することができる規定でございます。よって、秦野市内におきましても、小中22校におきまして、特別支援学級の児童生徒に対して、文科省の目録に登載された教科用図書以外のものの希望等を保護者に呼びかけ、毎年、教育委員会で議案として扱っているわけでございます。

今年度、一般図書から教科用図書を希望した児童生徒は、小学校が14名、中学校が14名でございます。この28名は、一般図書、つまり、教科用図書を一般図書に差し替えながら特別支援学級での教育活動に生かすという形になります。

なお、資料、選定理由一覧等、小学校14名、中学校14名の児童生徒の特性及び選定理由が記されております。この内容については、教育指導課の特別支援教育担当指導主事が全校を回り、その児童生徒の特性を確認し、保護者が希望しているという意向の確認をすべて行った中で今回の議案提出になっております。

ご審議をよろしくお願いいたします。

望月委員長

説明が終わりましたが、何かご意見、ご質問はございますか。

教育指導課長、私のほうから1ついいですか。

教育指導課長	<p>28名のいわゆる9条本ですが、配布は普通学級の教科書と同じ日に配布されるのですか。</p> <p>大体4月上旬の始業式の次の日に各学校へ配布しているのが秦野市の学校の特性ですが、その時期に合わせた形で配布されることを予定しています。</p>
望月委員長 内田委員	<p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p>これは、その児童生徒さんに対して毎年このような形で配布されるということでしょうか。</p>
教育指導課長	<p>先ほどの4年間とするという法律のところに、この9条を除くということをございまして、これは毎年採択を行い、通常7月の教育委員会会議で議題として提出させていただいて、議決を行っていただいております。</p>
望月委員長	<p>ほかにありませんか。</p> <p>—特になし—</p>
望月委員長	<p>それでは、採決に移りたいと思います。</p> <p>議案第24号「平成24年度に使用する学校教育法附則第9条による教科用図書採択について」は、原案どおり可決することに異議ございませんか。</p> <p>—異議なし—</p>
望月委員長	<p>よって、議案第24号は原案のとおり可決されました。</p>
事務局	<p>では、その他ということで、事務局、お願いします。</p> <p>次回の開催日程でございます。</p> <p>定例教育委員会会議を8月19日、金曜日、午後1時30分から予定しております。</p> <p>また、点検・評価及び幼小中一貫教育の学習会を8月1日、月曜日、午後1時30分から、本庁舎3階3A会議室で予定しておりますので、よろしく願いいたします。</p>
望月委員長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>評価は、これだけでしたか。ほかにまだありましたか。</p>
事務局	<p>きょう、点検票のシートをお配りしますので、1日に評価をしていただきます。</p>
望月委員長	<p>わかりました。</p> <p>ほかにありますか。</p> <p>—特になし—</p>
望月委員長	<p>それでは、1時から始まりました臨時教育委員会会議、4時になろうとしております。約3時間、大事な教科書採択の検討会だったと思います。ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、臨時教育委員会を終了いたします。</p>

